

「柏崎刈羽原発の再稼働はありえない」

「11・9ゼロネット結成13周年のつどい」講演で大島堅一さん強調

～ 原子力は衰退産業 再エネ100%こそ未来のエネルギー ～

強い励ましという言葉をいただきました。

大島さんは「福島原発事故への責任が裁判でも明らかとなり東電には原発を稼働する資格がない。事故時に屋内退避・避難が不可能なことは明白であり、柏崎刈羽原発再稼働はありえない」ときっぱり語り、県民投票実現を目指す新潟県民の運動に対して力

結成13周年を迎えた原発ゼロ長岡市民ネットは、11月9日長岡市立中央図書館で「原発再稼働を考える市民のつどい」を開催。120人を超える参加者が、龍谷大学教授で原子力市民委員会の座長を務める大島堅一さんのお話に熱心に耳を傾けました。

大島さんのお話には、「具体的にでもしろかった」「難しい内容を分かり易く話してもらった」「良かった」「南オーストラリアの再エネの取り組みはすごいね」「原発を止めれば電気が安くなるシンプルな理論を知った」「サプライチェーンが劣化し、重要な技術を持つ企業が相次いで撤退。原子力関係学部がなくなるなど人材確保も難しく衰退産業であることがわかった」「原発は国の助成金が必要で削減する産業であり、国民から金をむしり取ろうとしている事を知った」「柏崎刈羽原発再稼働は、再エネ・脱炭素の分かれ道、天王山と知った」などの感想が寄せられました。また、参加者からは「とてもよかったです」「身近なところから再エネに取り組むことが大事だと思った」などの声が多数聞かれました。



緻密な研究に基づく明快な理論をわかりやすく講演。



真剣に聴き入る参加者。講演後の質疑応答も活発でした。

再稼働の是非は県民投票で！ 条例制定署名を大きく広げよう！

県民投票条例制定を求める署名活動が10月28日にスタートしてから間もなく1か月。多くの人が連日署名に取り組んでいきます。「受任者や署名の呼びかけに断る人はほとんどいない」と50人以上に受任者になって貰った人や、久しぶりに友人宅を訪ねて回り旧交を温めながら30人以上の署名を集めている人など沢山の実践が生まれています。あと1か月です。頑張りぬきましょう！

県民投票で決める会長岡実行委員会主催
署名活動交流集会のご案内

※十二月二日（月）午後6時～8時
※さいわいプラザ 4階大ホール
（詳しくは同封のチラシをご覧ください）

<活動資金支援カンパのお願い>

◎結成13周年市民のつどいの参加者から45,172円のカンパが寄せられ、「決める会」に届けました。有難うございました。
◎署名活動はすべて市民のカンパで賄っています。ご協力を宜しく願います。

- ◆つどいの資料（ゼロネット1年間の活動のまとめ、会計報告）を同封しました。ぜひご一読ください。
- ◆なお、当日参加できなかった方で、大島堅一さんの講演資料をご希望の方はお申し出ください。（先着20名まで）

【会員継続のお願い】

☆12月から始まる新年度もぜひ会員を継続してください。一緒に力を合わせて原発ゼロに取り組んでいきましょう！

更新がまだお済みでない方には、納入封筒か振込用紙を同封させて頂きましたのでお手続きの程よろしく願います。

なお、事務局またはお近くの世話人にご連絡いただければ対応させて頂きます。

☆周りの人に声をかけ、大勢の人から新規会員になってもらいましょう！

12月のアオーレ前宣伝行動は 12月11日（水）16時～16時30分 ☆ぜひご参加ください

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第152号 2024年11月25日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707